

持続可能な交通運用 ~インフラ維持管理効率化時代の最前線~

人口減少を迎えた我が国において、将来にわたりこれまでと同様の社会インフラを維持し続けることは非常に厳しい状況であり、交通分野においても効率的な交通運用が求められています。中でも、交通をめぐる最新技術は目まぐるしく進化を続けています。近年では自動運転機能を搭載した自動車が標準となりつつあり、完全自動運転の実現に向けた様々な開発が進められています。また、新たなモビリティとして様々な交通手段・制度等が普及し始め、これによる社会的課題の解決が期待されています。そこで本講習会では、「持続可能な交通運用」をテーマとし、自動車の進化、新たなモビリティ、交通制御、道路管理・行政といった観点から、各分野における近年の動向やビジョンを紹介するとともに、インフラ維持管理効率化時代における交通運用のあり方を展望します。会員の皆様をはじめ、多数の方々のご参加をお待ちしております。

- 主 催：一般社団法人 交通工学研究会 <https://www.jste.or.jp/> ■後 援：警察庁・国土交通省
- 開催日：2025 年 7 月 3 日 (木)
- 会 場：名古屋工業大学 NITech Hall (愛知県名古屋市御器所町)※オンライン同時配信
- 参加費：交通工学研究会 正会員 8,250 円 特別会員 8,800 円 学生会員 3,850 円 非会員 9,900 円(消費税込)
- プログラム (時間やプログラムの一部を変更する場合もございますのでご了承ください)

1. モビリティイノベーションによる地域創生【基調講演 1】 CASE や MaaS などによる百年に一度のモビリティ革命がうたわれる中、本講演では名古屋大学が取り組んでいるモビリティイノベーションの研究開発プロジェクトを紹介し、これらがどのように地域創生に貢献できるかを述べます。具体的には、2013 年に始まった COI (Center of Innovation) プロジェクト、2022 年開始の COI-NEXT プロジェクト、そして 2023 年からの SIP 第 3 期スマートモビリティプラットフォーム構築プロジェクトについて紹介します。	森川 高行 名古屋大学	10:30 ~ 11:20
2. 安全・快適な道路空間形成に資する交通運用・インフラ整備【基調講演 2】 信号機に頼らない交差点処理方法であるラウンドアバウトや無信号の二段階横断施設は、安全性の向上の他、管理・運用コストの削減効果が見込まれることから、今後更なる普及が期待されます。本講演では両者の特長や国内外の事例を示すとともに、安全・快適な道路空間形成に資する交通運用やインフラ整備のあり方について紹介します。	鈴木 弘司 名古屋工業大学	11:20 ~ 12:10
昼休み		
3. 信号機等の維持管理における現状と課題 信号機や横断歩道を始めとする交通安全施設の整備は、交通の安全と円滑の実現に当たって極めて重要である一方、経年劣化や摩耗等により、機器の故障、視認性の低下等が生じるなど、その老朽化が課題となっています。そこで、その老朽化対策について、令和 5 年度に発出した通達に基づく取組のほか、車両感知器削減に向けたプローブ情報を用いた省感知器制御の実証実験等について紹介します。	根木 まろか 警察庁	13:00 ~ 13:30
4. ITS を取り巻く状況と今後 これまで国交省では、電子料金収受システム (ETC) や ETC2.0 を導入し、ビッグデータを用いた料金施策や運行管理支援の高度化を図ることで、渋滞・事故の低減に取り組むなど、ITS の社会実装に取り組んできた。これまでの取り組みを振り返るとともに、次世代 ITS の検討状況や、自動運転の進展など、道路を取り巻く環境の変化を踏まえた道路活用の進化についての取組みを紹介します。	御器谷 昭央 国土交通省	13:30 ~ 14:00
5. Passive data を用いた交通モニタリング 高速道路～生活道路まで様々な道路でのモニタリングの必要性が高まっている。その中でスマホデータ・カープローブデータのような Passive data が活用できる時代になってきており、交通モニタリングへの活用が期待される。本講では、車両挙動データを含むトヨタのコネクティッドデータを用いた交通モニタリング研究事例を紹介します。	桑原 昌広 トヨタ自動車株式会社	14:00 ~ 14:30
6. 快適走行ビジョン 2040 について 開通後 60 年を迎える首都高速道路においては、ネットワークの整備や渋滞対策の実施により、この四半世紀において渋滞が半減しました。しかし、現在も主要渋滞箇所を中心に混雑が残っています。更なる安全と円滑に向け、2040 年を見据えた首都高の交通に関するビジョンを紹介します。	草壁 郁郎 首都高速道路株式会社	14:30 ~ 15:00
休憩		
7. パネルディスカッション 参加者からの質問をもとに討議	コーディネーター：鈴木弘司 パネリスト：講演者の登壇を予定	15:15 ~ 16:30

■参加登録:

- ・当会ウェブページ (<https://www.jste.or.jp/events/>) にて申込の詳細をご案内しております。よりお申込みください。
 - ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
 - ・参加登録(入金)が完了した方には、参加方法や、資料入手方法等のご案内に参加登録されたメールアドレス宛に配信します。
- 参加申込や支払いに関するお問合せは、mail : maf-jste.event@mynavi.jp までお願いします。



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <https://www.jste.or.jp/> の新着情報にてお知らせいたします。